

愛知県スマートシティモデル事業

「データ利活用によるまちなかのにぎわい創出事業」の データを活用した民間での独自の取り組みが始まります！

本市では、急速な高齢化や環境問題など多様な地域課題の解決を図るため、地域全体のデジタル化を図るスマートシティの取り組みを積極的に進めています。

令和 6 年度は、愛知県スマートシティモデル事業※ 1 における実証実験をまちなかエリアで実施し、まちなかのにぎわい創出に繋げるため、情報の一元発信やデータ利活用に取り組んでいます。

この度、コンソーシアム構成員である㈱TSP が独自に、本事業で収集したデータを活用し、ビジネスで豊橋を訪れる宿泊客をメインターゲットにした地元飲食店・小売店で使える電子チケットが付いた宿泊プランを発売する運びとなりましたのでお知らせします。

■プラン内容等

別添参考資料をご覧ください。

㈱TSP による独自の取り組みは、令和 6 年度豊橋市未来産業創出事業補助金（事業化可能性調査事業）※ 2 を活用しています。

※1

・愛知県スマートシティモデル事業

スマートシティの取り組みのモデルとなるような事業を県が提案市町村に委託して実施し、成果報告会等の開催により、その成果を県全体に横展開する（2022年度より実施）。

・令和6年度事業内容等

【データ利活用によるまちなかのにぎわい創出事業】

豊橋公園東側エリア再整備事業を契機としたまちなかのにぎわい創出に向け、イベント情報や、駐車場の空き情報を含むまちなかの情報を一元的に発信し、市民・来訪者の利便性向上につなげる実証実験を行う。取り組みの詳細は事業ポータルページ（<https://smartcity-toyohashi.temirin.jp/>）をご確認ください。

（実施主体：豊橋市データ利活用によるまちなかのにぎわい創出コンソーシアム

（コンソーシアム構成員：豊橋市、株式会社TSP）

※2

・豊橋市未来産業創出事業補助金について

市内外の企業やスタートアップによる本市での新事業創出を促進するために、市場調査から初期の試作品開発、大学等との共同研究、社会実験まで新事業の創出に向けたあらゆるフェーズを支援する補助金です。令和6年度は、28件を採択しました。株式会社TSPは、事業化可能性調査事業（補助率1/2、限度額500,000円）を活用し、以下の内容で実証実験に取り組んでいます。

テーマ	交付決定額
「豊橋の名店・銘品ガイドアプリ（仮）」の開発とアプリ・Wi-Fiセンサーを活用した人流データ分析	500,000円

ホームページ：<https://www.toyohashi-mirai.com/>



問合先 データ利活用によるまちなかのにぎわい創出事業について

企画部 政策企画課 主幹 佐野 （電話 51-2183）

未来産業創出事業補助金について

産業部 地域イノベーション推進室 室長補佐 小野（電話 51-3155）

まちなかエリアのビジネスホテルと店舗を結ぶ 「とよはし満喫！ちょい得プラン」を実施します！

令和 6 年 7 月から、愛知県スマートシティモデル事業※における実証実験に豊橋市と連携して取り組んでいます。

この度、まちなかのにぎわい創出に繋げるため、ビジネスで豊橋を訪れる宿泊客をメインターゲットに、宿泊プランとセットになった地元飲食店・小売店で使える電子チケットを専用のウェブアプリケーションにて発行し、来訪者への地元店舗利用促進を図り、まちなかエリアの活性化を図ります。

この機会にぜひご利用ください。

■イベント内容

対象ホテルの特定の宿泊プランをご利用した方を対象にまちなかエリアの飲食店やお土産購入に利用可能な WEB チケットを発行します。

■対象ホテル

ホテルアークリッシュ豊橋（URL : <https://www.arcriche.jp/>）

ジャストインプレミアム豊橋新幹線口

（URL : <https://www.just-inn.jp/toyohashieki/>）

■対象店舗

まちなかエリアの飲食・小売店

（詳細情報は「とよはし満喫！ちょい得プラン」サイトをご参照ください。

URL : <https://choitok.toyohashi.city/>）

■イベント期間

令和 7 年 2 月 1 4 日（金）から令和 7 年 3 月 3 1 日（月）

